

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日
東

上場会社名 株式会社コーセー 上場取引所
コード番号 4922 URL <https://corp.kose.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 (TEL) 03-3273-1511
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	78,998	1.8	6,659	△15.7	5,157	△49.8	5,292	△23.8
2024年12月期第1四半期	77,583	13.8	7,902	35.5	10,282	54.1	6,943	78.1

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 2,520百万円(△73.5%) 2024年12月期第1四半期 9,509百万円(168.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	92.75	—
2024年12月期第1四半期	121.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	377,267	288,594	71.7	4,738.08
2024年12月期	383,121	290,630	71.1	4,771.69

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 270,377百万円 2024年12月期 272,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	336,000	4.1	20,000	15.2	20,700	△4.4	13,800	83.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	60,592,541株	2024年12月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	3,527,709株	2024年12月期	3,527,676株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 1 Q	57,064,832株	2024年12月期 1 Q	57,057,452株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年3月31日まで)

セグメントの名称	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	62,164	80.1	63,510	80.4	1,345	2.2
コスメタリー事業	14,808	19.1	14,808	18.7	0	0.0
その他	610	0.8	679	0.9	69	11.3
売上高計	77,583	100.0	78,998	100.0	1,414	1.8

区分	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	7,902	10.2	6,659	8.4	△1,242	△15.7
経常利益	10,282	13.3	5,157	6.5	△5,125	△49.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,943	8.9	5,292	6.7	△1,650	△23.8

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年3月31日まで)における日本経済は持ち直しの動きが続いているものの、物価上昇を要因とした個人消費の停滞等、回復力には弱さも見られました。消費者マインドの下振れや米国の政策動向による影響等、景気を下押しするリスクに留意が必要です。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においても、先行きに不透明感が高まっています。中国では不動産市況および個人消費の低迷が継続していることに加えて、米中間の通商政策の影響による不確実性が高まっています。米国では失業率は概ね安定しているものの、通商政策の変化がインフレの再燃や景気減速等を引き起こすリスクが懸念されます。

日本の化粧品市場では、リオープニング効果が一巡した2024年下期以降も、基調に大きな変化は見られず、底堅く推移しています。また、インバウンド需要も、訪日客数の増加を背景に好調を維持しています。

アジアの化粧品市場では、特に中国市場において中国国産ブランドの台頭や個人消費の低迷によって市場の二極化が続いています。

米国の化粧品市場では、消費者の価格感度の高まりを背景に、特に中・高価格帯のブランドは厳しい事業環境に直面しています。加えて、関税によるコスト増等のビジネスリスクの高まりの兆しも見られ、当社グループでは状況を注視しています。

このような市場環境の中、当社グループは2024年11月に公表した中長期ビジョン「Vision for Lifelong Beauty Partner—Milestone2030」を推進しています。現在は、フェーズ1「構造改革の完遂と基盤再構築」に位置付けており、日本事業の収益性向上に向けた事業構造の見直しとアジア事業の売上拡大に向けた投資を実行しています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前年同期比1.8%増の78,998百万円(為替の影響を除くと前年同期比0.8%増)となりました。北米では厳しい市場環境の影響を受けて減収となりましたが、日本における(株)アルビオンの売上が大きく伸長し、またその他ブランドも既存品の育成に積極的に取り組むことで、全体で増収となりました。連結売上高に占める海外売上高の割合は34.5%となりました。

営業利益は、原価率の上昇ならびに管理費の増加によって6,659百万円(前年同期比15.7%減)となりました。原価率上昇の主な要因は廃棄・評価減の増加です。タルト社における在庫引当の増加ならびにコーセーのセルフブランドにおける廃棄が影響しました。管理費は主に新規連結対象のPuri社の上乗せを要因として増加しました。経常利益は円高進行による為替差損の増加によって5,157百万円(同49.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産の売却益によって5,292百万円(同23.8%減)となりました。

化粧品事業は、プレステージで減収となりましたが、ハイプレステージの増収で打ち返すことで、事業全体では増収となりました。

ハイプレステージでは、(株)アルビオンのブランドと「パンピューリ」の増収が、「コスメデコルテ」や「タルト」の減収を打ち返しました。「コスメデコルテ」は、日本国内では前年同期の売上高を上回っているものの、中国では高価格帯化粧品市場の低迷による影響を受けました。

プレステージでは、好調だった前年同期と比較すると減収となりました。主要ブランドである「雪肌精」は、日本国内では既存品の育成が奏功して増収となりましたが、海外では前年同期の実績を下回りました。

同セグメントにおける営業利益は、(株)アルビオンと中国本土で増益となりました。中国本土では構造改革の効果が顕在化し始めたことで、当第1四半期では黒字に転換しました。しかし、日本におけるコーセーブランドの減収による影響や「タルト」の減益を相殺するには至らず、全体では減益となりました。

その結果、化粧品事業の売上高は63,510百万円（前年同期比2.2%増）となり、営業利益は5,995百万円（同12.0%減）となりました。

コスメタリー事業における売上高は、前年同期とほぼ同水準で推移しました。主要ブランドでは、コーセーのセルフブランド「ヴィセ」の苦戦を「メイクキープ」シリーズの増収によって打ち返しました。また、コーセーコスメポート(株)では、主要ブランドが前年同期に大型リニューアルを実施したためハードルは高かったものの、前年並みの売上高を確保しました。

同セグメントにおける営業利益は、原価率の上昇を要因に収益性が低下したことで減益となりました。原価率の上昇は、主にコーセーのセルフブランドの廃棄が影響しています。

その結果、売上高は14,808百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は1,851百万円（同19.8%減）となりました。

その他の事業は、主にアメニティ事業での増収に加えて、原価率の低下が寄与したことで、増益となりました。売上高は679百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は360百万円（同148.6%増）となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	48,834	62.9	51,765	65.5	2,931	6.0
アジア	9,653	12.4	9,770	12.4	116	1.2
北米	16,863	21.7	15,374	19.5	△1,488	△8.8
その他	2,232	2.9	2,087	2.6	△145	△6.5
売上高計	77,583	100.0	78,998	100.0	1,414	1.8

<日本>

日本では、前年第1四半期に発売した新商品が好調だったため、多くのブランドにおいて売上成長は緩やかになりましたが、アルビオンブランドが大幅に売上高を伸ばした結果、地域全体では増収となりました。

化粧品事業では、アルビオンブランドが内需・インバウンド需要ともに好調に推移しました。「コスメデコルテ」と「雪肌精」では、前年同期に大型新商品を発売しましたが、当四半期は既存品の販売を強化することで、増収を確保しました。

コスメタリー事業では、前年同期の新商品発売・リニューアルの反動を受けましたが、前年同期と比べて僅かに増収となりました。

その結果、売上高は51,765百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

<アジア>

アジアにおいて、中国本土および免税チャネルは減収となりました。中国本土では3月の大型セールの実績が前年同期を下回ったこと、免税チャネルでは当社主導の出荷コントロールを継続したこと及び韓国免税における前年度の出荷増の反動があったことが主な要因です。しかし、本年度から連結対象となったPuri社の増収で打ち返すことで、地域全体の売上高は9,770百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

<北米・その他>

北米・その他地域において、プレステージメイク市場全体で厳しい市場環境が続いています。同地域における売上高の大半を構成する「タルト」は、新規チャネルとの取引開始により出荷が増加したものの、北米のオフラインチャネルの苦戦を打ち返すには至らず、減収となりました。加えて、コーセーブランドにおいては、前年同期に「雪肌精」の大型の受注があったため、当四半期は減収となりました。

その結果、北米地域の売上高は15,374百万円（前年同期比8.8%減）、その他（欧州など）の売上高は2,087百万円（同6.5%減）となりました。

（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年２月12日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,970	98,565
受取手形及び売掛金	50,020	48,857
商品及び製品	40,216	40,508
仕掛品	3,105	4,083
原材料及び貯蔵品	26,311	27,299
その他	6,864	6,791
貸倒引当金	△151	△149
流動資産合計	240,336	225,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,466	54,133
減価償却累計額	△29,694	△29,948
建物及び構築物（純額）	24,771	24,185
機械装置及び運搬具	22,967	23,050
減価償却累計額	△19,772	△19,964
機械装置及び運搬具（純額）	3,194	3,086
工具、器具及び備品	45,881	44,621
減価償却累計額	△40,715	△39,538
工具、器具及び備品（純額）	5,166	5,083
土地	18,800	18,481
リース資産	14,675	13,948
減価償却累計額	△4,957	△4,982
リース資産（純額）	9,717	8,965
建設仮勘定	12,099	21,026
有形固定資産合計	73,749	80,829
無形固定資産		
ソフトウェア	5,535	5,204
のれん	13,510	12,814
その他	4,206	4,177
無形固定資産合計	23,252	22,196
投資その他の資産		
投資有価証券	16,750	18,934
退職給付に係る資産	18,828	18,867
繰延税金資産	6,150	6,314
その他	4,752	4,872
貸倒引当金	△700	△703
投資その他の資産合計	45,782	48,286
固定資産合計	142,784	151,311
資産合計	383,121	377,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,356	9,758
電子記録債務	14,859	14,153
短期借入金	831	764
リース債務	1,406	1,330
未払金	16,628	18,290
未払費用	13,447	11,729
未払法人税等	5,721	2,999
未払消費税等	1,736	1,738
返金負債	6,532	5,717
その他	2,641	2,219
流動負債合計	71,162	68,703
固定負債		
リース債務	8,985	8,296
繰延税金負債	6,867	6,061
その他	5,474	5,611
固定負債合計	21,327	19,969
負債合計	92,490	88,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	179	179
利益剰余金	243,345	244,643
自己株式	△9,055	△9,056
株主資本合計	239,316	240,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,929	4,396
為替換算調整勘定	18,461	15,971
退職給付に係る調整累計額	9,588	9,395
その他の包括利益累計額合計	32,979	29,762
非支配株主持分	18,334	18,216
純資産合計	290,630	288,594
負債純資産合計	383,121	377,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	77,583	78,998
売上原価	21,473	22,383
売上総利益	56,110	56,615
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	6,381	5,950
販売促進費	10,817	11,260
運賃及び荷造費	4,558	4,829
給料及び手当	13,195	13,530
退職給付費用	11	△28
法定福利費	2,160	2,167
減価償却費	1,249	1,407
その他	9,832	10,837
販売費及び一般管理費合計	48,207	49,955
営業利益	7,902	6,659
営業外収益		
受取利息	250	189
受取配当金	1	184
還付消費税等	5	0
投資事業組合運用益	32	—
為替差益	2,037	—
雑収入	110	84
営業外収益合計	2,437	459
営業外費用		
支払利息	1	15
貸倒引当金繰入額	45	16
投資事業組合運用損	—	23
為替差損	—	1,888
雑損失	9	18
営業外費用合計	57	1,961
経常利益	10,282	5,157
特別利益		
固定資産売却益	—	2,715
特別利益合計	—	2,715
特別損失		
固定資産処分損	8	208
減損損失	0	0
特別損失合計	8	209
税金等調整前四半期純利益	10,273	7,663
法人税、住民税及び事業税	4,073	2,845
法人税等調整額	△931	△968
法人税等合計	3,142	1,876
四半期純利益	7,131	5,786
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	493
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,943	5,292

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	7,131	5,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279	△534
為替換算調整勘定	2,848	△2,529
退職給付に係る調整額	△191	△202
その他の包括利益合計	2,377	△3,266
四半期包括利益	9,509	2,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,289	2,076
非支配株主に係る四半期包括利益	220	444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	62,164	14,808	76,973	610	77,583	—	77,583
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	109	109	△109	—
計	62,164	14,808	76,973	719	77,693	△109	77,583
セグメント利益	6,816	2,306	9,122	145	9,268	△1,365	7,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	23
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,389

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
48,834	9,653	16,863	2,232	77,583

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	63,510	14,808	78,319	679	78,998	—	78,998
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	124	124	△124	—
計	63,510	14,808	78,319	803	79,122	△124	78,998
セグメント利益	5,995	1,851	7,846	360	8,207	△1,547	6,659

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	15
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,562

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
51,765	9,770	15,374	2,087	78,998

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	2,302百万円	2,398百万円
のれんの償却額	271	543

(収益認識関係)

収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象として
いることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の
所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりでありま
す。

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	33,965	9,111	16,863	2,224	62,164
コスメタリー事業	14,258	541	—	8	14,808
報告セグメント計	48,224	9,653	16,863	2,232	76,973
その他(注)	557	0	—	—	558
顧客との契約から生じる収益	48,782	9,653	16,863	2,232	77,531
その他の収益	51	—	—	—	51
外部顧客への売上高	48,834	9,653	16,863	2,232	77,583

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	36,757	9,292	15,374	2,085	63,510
コスメタリー事業	14,329	477	—	2	14,808
報告セグメント計	51,086	9,769	15,374	2,087	78,319
その他(注)	626	0	—	—	626
顧客との契約から生じる収益	51,713	9,770	15,374	2,087	78,945
その他の収益	52	—	—	—	52
外部顧客への売上高	51,765	9,770	15,374	2,087	78,998

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。